

2022年4月

新学部・ 新学科開設

[保健医療学部]

臨床工学科

新学科



[総合福祉学部]

新学部

介護福祉マネジメント学科

ソーシャルワーク学科



医療と福祉の現場から誕生した

日本医療大学

介護福祉 マネジメント学科

Department of
Care Work and Management

修業年限 4 年

定員 40人



Diploma Policy

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

介護福祉マネジメント学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える

1. 人間を尊重する態度と高い倫理観を養い、人間を統合的な存在として理解する能力を身につける
2. 利用者のアセスメントから生活課題を明らかにして、介護計画を作成、実施、評価ができ、それを他の介護職に指導できる能力を身につける
3. 介護計画の作成・実施において、多職種等と協働して支援する能力を身につける
4. 介護職員のリーダーとして、チームで介護業務を遂行していくことができる能力を身につける
5. 社会福祉施設・医療機関等の運営管理、サービスの維持や開発に関わることができる能力を身につける

Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

介護福祉マネジメント学科は、ディプロマポリシーに基づき、各年次で学修した知識と技術を体系的に修得し、年次を追って発展できるよう教育課程を編成する

1. 人権や多様な人間性を尊重し、主体的に関わる能力を育成するために基礎となる知識と豊かな人格を涵養することを重視した科目を基礎教育科目に配置する
2. 包括的・重点的支援に必要な専門職の知識を修得させるため、「社会福祉の基礎」及び「経営の基礎」に関する科目を専門基礎教育科目に配置する
3. 専門職のための技能を修得するための専門教育科目を配置する
4. 主体的に学べるケーススタディ、問題解決型学習などのアクティブ・ラーニングを用いて、実践力を育てる
5. 学習成果の評価は、学力3要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を原則とし、5段階の評価で示す

Admission Policy

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

介護福祉マネジメント学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める

1. 介護福祉に関わる専門的知識を学べる基礎学力を有する人
2. 差別や偏見をなくし、地域共生社会の実現のために貢献したいと思う人
3. 自立困難な人や生活のしづらさを抱えている人の人生を豊かにできる人
4. 社会福祉施設、医療機関等の組織の経営、運営管理について論理立てて考える力がある人
5. 新しいソーシャルビジネスやサービスを開発・企画することを論理立てて考える力がある人

2つのマネジメントスキルの修得を目指す。



医療機関や介護施設の 経営、管理運営を担う人材を目指す

保健・医療・福祉に関連する組織の管理運営に必要な専門的知識を修得し、社会福祉施設・医療機関等の経営やサービスの維持、開発に関わるマネジメント能力を有した人材を養成します。



介護福祉の専門職として 介護現場をマネジメントする人材を目指す

利用者や患者が自らの心身状況に合わせて自立・自律した日常生活を送るために、介護に関わる専門職としてのスキルアップ、介護業務等マネジメントできる資質を身につけた介護福祉士を養成します。



介護福祉士 とは

介護施設等で介護を必要とする方々に対して、その人らしい生活を支援するための知識・技術・価値観を有する国家資格です。

取得可能な資格

介護福祉士
国家試験受験資格

介護福祉経営士／医療経営士
民間資格

社会福祉主事 任用資格

卒業後の進路

社会福祉施設、医療機関、
医療関連企業、福祉関連企業
など

卒業後の学位

学士
(大学卒業学位 福祉経営学)

学科の特長

I.

生活を支援する視点で、
利用者のアセスメント、介護計画の作成、
実施、評価に基づく
介護過程が遂行でき、そのことを
他者に指導できる人材を育成する

II.

マネジメントに関する
専門的知識を修得し、
介護職員等をマネジメントする
能力を有した人材を育成する

III.

マネジメントする専門的能力を身につけ、
社会福祉施設・医療機関等の
運営管理、サービスの維持や
開発に関わるマネジメント能力を
有した人材を育成する

ソーシャル ワーク学科

修業年限 4 年

定員 80人

Department of

Social Work

専門性の高い
ソーシャルワークを学び、
地域共生社会の構築に
貢献していく



Diploma Policy

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

ソーシャルワーク学科は、建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える

1. 人間を尊重する態度と高い倫理観を養い、人間を統合的な存在として理解する能力を身につける
2. 保健・医療・福祉・介護・就労・教育等に関わる専門的知識や技術に関する能力を身につける
3. 利用者主体の生活支援として、ソーシャルワークの展開過程を実施できる能力を身につける
4. 利用者やその家族の生活課題をアセスメントし、支援計画を作成・実施(個別支援)する能力を身につける
5. 地域の生活課題をアセスメントし、支援計画を作成・実施(地域支援)する能力を身につける
6. 個別支援から地域支援へ、地域支援から個別支援への連続した支援ができる能力を身につける

Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

ソーシャルワーク学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、実習、演習を組み合わせ、科目に適した形態の授業を編成する

1. 人権や多様な人間性を尊重し、主体的に関わる能力を育成するために、基礎となる知識と豊かな人格を涵養することを重視した科目を基礎教育科目に配置する
2. 包括的な支援に必要な専門職かつチームの一員として、社会福祉と経営の基礎に関する科目を専門基礎教育科目に配置する
3. 福祉サービスを必要とする人の支援を可能とするため、ソーシャルワーク及び経営に関する科目を専門教育科目に配置する
4. ケーススタディ(CS)や問題解決型学習(PBL)を通して、アクティブ・ラーニングによる問題解決プログラムに関する科目を配置する
5. 学習成果の評価は、学力3要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を原則とし、5段階の評価で示す

Admission Policy

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

ソーシャルワーク学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める

1. 保健・医療・福祉に関わる専門的知識を学べる基礎学力を有する人
2. 差別や偏見をなくし、地域共生社会の実現のために貢献したいと思う人
3. 自立困難な人や生活のしづらさを抱えている人の人生を豊かにできる人
4. 社会福祉施設や医療機関等の支援システムの運営管理に関心のある人
5. 本人や地域の課題解決について考える力がある人

地域共生社会を支える存在としての知識とスキルを体得。



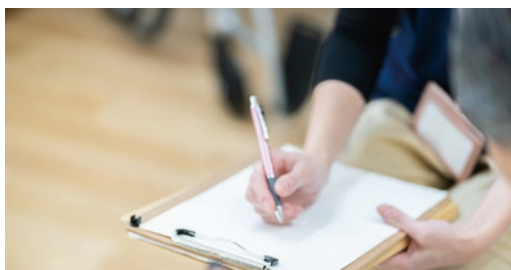
すべての人々を対象とし、地域を基盤においた、社会福祉、医療、就労、経済的支援に関わる機関や団体で活躍でき、また、入所施設や病院においても、そこからの地域移行、社会復帰、退院に携わるうえで、入所者や患者を生活の視点から支援していく。社会福祉士・精神保健福祉士というソーシャルワークの技術を基盤にして、より高い専門性を有して多様な機関・団体で活躍できるソーシャルワーカーを養成していきます。

社会福祉士 とは

社会福祉施設や医療機関、地域などで、生活上のさまざまな困難を抱える人の生活を多角的に支援していきます。

精神保健福祉士 とは

社会福祉施設や医療機関、地域などで、心の病や障がいを持つ人の生活を多角的に支援していきます。



取得可能な資格

社会福祉士／精神保健福祉士
国家試験受験資格

社会福祉主事 任用資格

卒業後の進路

社会福祉施設、病院、地域包括支援センター、
地方自治体、社会福祉協議会、
障害者相談支援事業所、
障害者雇用・就労支援事業所 など

卒業後の学位

学士(大学卒業学位 社会福祉学)

学科の特長

I.

地域共生社会構築に向けて、
保健・医療・福祉・介護・就労・教育等に
関わる専門的知識を修得し、
多職種連携のもとで、
ソーシャルワークが実践できる
能力を養成する

II.

利用者主体で、個人やその家族の
生活課題をアセスメントし、
支援計画を作成・実施(個別支援)
できる能力を養成する

III.

住民主体で、
地域の生活課題をアセスメントし、
支援計画を作成・実施(地域支援)
ができる能力を養成する

IV.

個人や家族への支援である
個別支援と地域への支援である
地域支援を連続して
支援できる能力を養成する

V.

実践的な教育を通して
より高度な専門的知識・技術を
獲得する

臨床工学科

修業年限 4 年

定員 60 人

医学と工学の
知識を融合し
新しい医療分野を
切り開く

Department of
Clinical Engineering

Diploma Policy

ディプロマ・ポリシー
(卒業認定・学位授与方針)

本学の基本理念、「臨床工学科の養成する人材像」および教育目標に基づき、臨床工学科における卒業時の到達目標は、以下のとおりとする。在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士(臨床工学)の称号を与える。

1. 相手を思いやる豊かな人間性を有し、科学的な思考力を基に共生社会の発展に貢献する資質
2. 適切なコミュニケーション能力、協調する力を身につけ、常に患者を意識し他職種の医療従事者と連携・協働ができる能力
3. 臨床工学の専門的な知識や技術を身につけ、多様化・高度化する医療機器の適切な操作や安全に管理できる能力
4. 工学的な研究の基礎を身につけた能力
5. 生涯にわたり自己研鑽する意欲と自己学修力を身につけている

Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー
(教育課程編成・実施方針)

本学科では、本学の基本理念に基づき、人間を尊重する態度とチーム医療の一員として必要な高い倫理観を持ち、専門分野の基礎・基本となる知識及び技術を高めることで医療機器を適切に操作できる確かな実践力と態度を身につけ、医療安全の確保と医療機器を用いた質の高い診療支援ができる臨床工学技士の育成を教育研究上の目的とする。また、臨床工学分野に関する学術研究の発展に寄与できる人材を育成するために、工学的な研究の基礎を修得したうえで医療機器の操作や安全管理における現象の解明や真理を発見するための実践力を磨くことで、臨床工学を学問として追求できる科学的思考と問題解決能力を有した人材育成を目指す。これらの教育目的を達成するための本学科カリキュラム・ポリシーは次に示す通りである。

1. 豊かな人間性を持ち、科学的思考力を基に共生社会の発展に貢献できる医療人材の育成のため適切なコミュニケーション能力や協調性、科学的思考力の修得を目的として、基礎教育科目である「人間と生活」、「科学的思考の基礎」の必修および選択科目を学修して、高い倫理観と人間力を醸成する科目を配置する(本学科のディプロマ・ポリシー①に対応)
2. チーム医療において、常に患者を意識して最善の医療を提供するためには、医学と工学を総合的に理解した医工学のスペシャリストとして他職種と連携・協働することが必要であり、その基盤を形成するために「臨床工学に必要な医学的基礎」、「臨床工学に必要な医療情報学とシステム工学の基礎」、「生体機能代行技術学」、「医用安全管理学」について学ぶ専門基礎教育科目、専門教育科目の科目を配置する(本学科のディプロマ・ポリシー②に対応)
3. 医療機器の適切な使用のために専門的な知識と技術を修得し、幅広い領域において医学的、または科学的根拠に基づいた良質な診療支援技術を提供できる人材育成のために、「人体の構造と機能」、「臨床工学に必要な医学的基礎」および「関連臨床医学」、「医用機器学」、「生体機能代行技術学」について学ぶ専門基礎教育科目、専門教育科目の科目を配置する(本学科のディプロマ・ポリシー③に対応)
4. 多様化・高度化する医療機器の安全使用を確保することで、医療安全の推進に寄与できる知識と技術を持った人材育成のために「臨床工学に必要な医学的基礎」、「医用生体工学」、「医用安全管理学」、「医用機器学」、「生体機能代行技術学」について学ぶ専門基礎教育科目、専門教育科目の科目を配置する(本学科のディプロマ・ポリシー③に対応)
5. 医療機器の効果的な活用や安全使用など臨床工学分野で直面する課題を発見し、科学的に解明するための能力を磨くため、「科学的思考の基礎」、「臨床工学に必要な理工学的基础」、「臨床工学に必要な医療情報学とシステム工学の基礎」、「医用生体工学」、「医用機器学」、「医用安全管理学」などの科目により工学的な研究の基礎を身につけたうえで「卒業研究」を必修科目とすることで医療機器に関連した課題について新たな知見を発見するための研究を遂行する(本学科のディプロマ・ポリシー④に対応)
6. 常に発展し続ける医療機器を管理する臨床工学技士には、生涯にわたり学修を継続することが必要であり、自ら主体的な学びの意欲を引き出すためのアクティブラーニングを実践するため、「プロジェクトスキルⅠ」、「プロジェクトスキルⅡ」、「チーム医療」、「臨床実習」および「卒業研究」を配置して段階的に学びの価値を追求する(本学科のディプロマ・ポリシー⑤に対応)

Admission Policy

アドミッション・ポリシー
(入学受け入れ方針)

本学科では、養成する人材像として①豊かな人間性を備え、倫理観や責任感を持った人材、②チーム医療の一員として倫理観や責任感を持ち、医療に貢献できる、③専門性の高い医療機器を適切に操作できる、④多様化、複雑化する医療機器を安全に管理できる、⑤科学的に臨床工学を追究できる人材を掲げ、この人材育成を達成するため、どのような能力を身につければ学位を授与するのかを定めたディプロマ・ポリシーを掲げ、ディプロマ・ポリシーを達成するための教育内容や教育方法を定めたカリキュラム・ポリシーを掲げて教育課程を編成した。養成する人材像やディプロマ・ポリシーに定める修得を目指し、カリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、臨床工学科のアドミッション・ポリシーは以下のとおりとした。

1. 他者を思いやる心、相手の立場に立つて物事を考えられることができる人
2. 基本的なコミュニケーション能力を有している人
3. 学ぶ意欲や挑戦する意欲があり、主体的に学修する意思がある人
4. 基本的な生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人
5. 高等学校等において能動的に幅広く学び、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている人

高度な医療機器を的確に取り扱うスペシャリストを養成。



人工心臓・ECMO（体外式膜型人工肺）等の高度医療機器を安全かつ有効に活用するため管理業務のみならず、血液浄化、各種手術や心臓血管カテーテル業務など、大学4年間を通じて高度な技術を修得します。また、近年、急速に普及している低侵襲治療領域においてカテーテル治療、内視鏡、ロボット手術など、手術室で対応が可能な技術を学修します。さらに在宅酸素療法などの技術も学び、質の高い臨床工学技士を養成します。



臨床工学技士とは

病院では、患者さんの病気の診断や治療にさまざまな医療機器を使用しており、安全かつ有効に活用することが、医療の質に大きく関わってきます。これらの生命維持に関する医療機器の管理を臨床工学技士が行っています。

取得可能な資格・検定

臨床工学技士
国家試験受験資格※
第2種ME技術実力検定試験
第1種ME技術実力検定試験
医療機器情報コミュニケーターMDIC

※指定学校申請中。
予定であり、変更となる場合があります。

卒業後の進路

病院、診療所、
医療機器メーカー、
医療機器開発研究者 など

卒業後の学位

学士
(大学卒業学位 臨床工学)

学科の特長

I.

医学と工学の知識を学修し
生命維持管理装置を
安全かつ有効に
操作する能力を養成する

II.

充実した実習機器を用いて
理論と実践の融合した
シミュレーション教育を基軸とする

III.

効率的なカリキュラムと
国家試験取得および
臨床実務に直結した
実践的な技術の修得のために
経験豊富な教授陣とともに
充実した学生生活を過ごす

Curriculum

専門性を高めるカリキュラム

充実した国家試験対策と
即戦力となる知識・技術の
修得を実現する
効率的カリキュラム

北海道の大学としては初となる、臨床工学技士法第14条1号に該当する臨床工学技士を専門で養成する学科です。国家試験に直結した知識を自然に身につけながら、医療施設で活躍する臨床工学技士に必要な知識・技術も効果的に修得していけるようカリキュラムを設計しています。

臨床工学技士教育において
幅広い経験と高い実績を持つ
充実の専任講師陣

本学科の教員は、幅広い分野の臨床工学技士経験を持ち、その数は北海道でNo.1。さらに専任の医師も在籍し、実践的な知識・技術を有利に修得していくことができます。臨床工学技士養成校の学科長経験者も複数在籍しており、国家試験対策および就職対策に強い教授陣がそろっています。

実践的なスキルを育む
充実した最新の医療設備と
シミュレーション教育

実習で使用する医療機器は、すべて最新機種を導入。複数台用意しているだけでなく、患者を想定した実習が可能なシミュレータを業務分野ごとに用意しています。シミュレーション教育を専門で研究していた専任教員が多くいるので、実践的なシナリオを用いて実習を行うことができます。